

どう見る？ どうする？ 私たちの池田町

今号から、池田町の現状や行政をどう見るのか、どんな町づくりを期待するのかについて、紙上で「討論のひろば」を設けます。会員・読者のみなさんの投稿を歓迎します。ぜひご意見をお寄せください。

議員活動をふりかえって

四五

昨年の3・11大震災は、私たちの「生き方」に対する考え方を一変しました。「人は助け合わなくては生きていけない」「政治は弱い人のためにこそ力を尽くすべき」・・・と考える人たちが多くなったのではないかでしょう。

も、病気になつたのも、貧しいのも「すべて自己責任」という考え方が意図的に流された結果、閉塞感が広がり政治に対してのあきらめが強くなつていきました。

6月の町長選挙です。 4年前の勝山町長誕生時、私は議会副議長でした。9月議会開会前に町長の「税金滞納問題」が表面化し、議会は対応に苦慮しました。あまりにも重い負担に耐えられず、一般の町民が税金が払えないのは仕方がないことです。こと首長となると話は別です。「立候補するときに解決しておくべきだつた。町長としての道義的責任はある」というのが、議員全員の気持ちでした。

議会最終日に私が提案者になつて議員全員の賛成で次の内容の問責決議を可決しました。

- ・町政の最高責任者として、たとえ、池田町長職就任前であつたとしても、町税を帶納してきました事実

- ・その道義的責任は極めて大きい。
- それを受けて、勝山町長は閉会挨拶で「問責決議については深く反省し、指摘に対し今後の対応に生かしていくたい」と述べましたが、その後になりました。
- 当選直後に、すでに決定していた広域施設高瀬荘の移転地の変更を主張する、長年にわたる税金の滞納が明らかに

にしてしまつたことが、その後の町政運営に影を落とす原因になつてゐると感じます。

「町の将来ビジョンをはつきり描き、それに向かつて進む町政」、「町民の意見をきたさんと聞き、国に対しても悪いことは悪いとはつきり物が言える町政」、「町民の力に依拠して思いやりが持てる町政」・・・今年は町政変換の年にしていきたいものです。

「美しい村」にふさわしい町をどのようにつくるのかという方針は一向に見られませんでした。昨年度から議会に押されてワークショップを開いたりアクションプランをつくってはきましたが、これを実現するためには町民との協同をどうすすめるのか確たる方針もなく、ただ加盟しただけという状態です。

その他の事例についても、町政を前進させるという意欲が伝わってきません。何回にも及ぶ町長選での町政にかける熱意は何だったのかと、疑問を抱かざるをえません。

町民や職員の意欲を引き出すのではなく、逆に阻害しているように思えます。

近隣町村の生き生きした取り組みを見るにつけて、このままではいけないと思うのです。

町民主人公の町づくりへ

村端浩

池田町に居を構えてから
今年で9年目になろうとし
ています。

るようになつてきました。その後、町の「第5次総合計画」策定公募委員となつたり、近くは被災地支援ネットワークの事務局を担当したり、バラ園の造成などに関わつたりと、町民と行政の接点でいろいろな活動を続けてきました。

それらはすべて「この町が、自分自身を含めどの人たちにとつても住みよい町であつてほしい」という思いからの行動でした。

そこから見えてきた池田町の町政の現状と問題点はどんなものなのか、考えてみたいと思います。

*
私がいまだに耳に残つて
いるのは、勝山町長が立候
補にあたつて、大阪の実態
とも比較しながら池田町は

ももこの 健康教室

大腸がん検診を 受けていますか？

町の検診申し込み時期に、大腸がん検診について、知り合いからこんな相談を受けました。

「以前、便潜血反応で1回だけ陽性に出たけれど大丈夫かな？」

私は、「必ずもう1度便の検査をし、1回でも陽性になつたら精密検査を受けたほうがいいですよ」と話しました。

過去にも50代の女性で「毎年きちんとすべての検診を受けていたのに、大腸だけは大丈夫だろうと検査しなかったら手遅れになってしまって・・」と悔やまれた話を聞きました。

現在、女性のガン死亡数の第1位は「大腸がん」です。検診等で発見されにくい膵臓ガンなどと違い、検診で早期発見が可能な病気です。なかでも胃と大腸は直接内視鏡（カメラ）で確認できるわけですから、精密検査を勧められた場合はぜひ受けさせていただきたいと思います。

＜便潜血陽性でわざること＞
陽性者の約30%が大腸ガン+
大腸ポリープ（良性の腺腫）。
他に歯茎の出血、痔などの影
響で陽性となる場合もある。

大腸の長さは約1.5mあり、肛門に近い直腸ガンが約40～50%をしめると言われている。

＜大腸ポリープとは＞
良性の腺腫だが成長するとがん化するものが多い。内視鏡での切除が可能。なぜか男性に多い。

以上、痔のある方も年1回の検便（便潜血）はぜひ受けましょう。

大腸は血管に富んだ臓器であり、ガンの進行は早く肝臓などへの転移もあります。痔があるからと検便（便潜血）を受けない方もいますが、結果が出た時点で医師に相談されたらよいのではないかと思います。

に結びついていることです。が、町民「不参加」が町政の特徴になつていています。その最たる例がサポートセンター問題といえるでしょう。不参加どころか壊してさえいる。

*

被災地支援の活動で強く感じたのは、池田町民の中

には、他人を思いやることろと、町づくりへのエネルギーが満ちているということです。

なるなど、町長の資質が問われる事態となりました。公約について、たとえばボートセンター問題ではどこか。ボランティアバンクについて、糺余曲折をへたあと、ようやく役場内で骨格の議論を行い、具体化について町長

る熱意は何だったのかと、顧問を抱かざるをえません。町民や職員の意欲を引き出すのではなく、逆に阻害しているように思えます。

近隣町村の生き生きした取り組みを見るにつけ、このままではいけないと思うのです。

勝山町政の4年間を問う

（六日）

貴間にに対する答弁の中
見納した日付を間違え
など発言にも問題があ
税の今もつての滞納、
選挙における収支報
告の提出の遅れ、交通
及の反則金の未払い等
道義的責任は極めて
この職の責任の重大さ
ひつて、勝山町長に行
発言の両面において
を求める。

を受けて、勝山町長は
拶で「問責決議につい
てく反省し、指摘に対し
対応に生かしていきた
述べましたが、その後

町民の皆さんから「全容を
早く明らかにして欲しい」
いう声と共に、「議会はや
すぎ。町の恥を町外にまで広
めた」との苦言もいただきま
した。しかし、この問題で一
つかり片を付けずに中途半端
にしてしまったことが、その
後の町政運営に影を落とす可
能になつてゐると感じます。
「町の将来ビジョンをはつきり
書き、それに向かつて進
む町政」、「町民の意見をきき
んと聞き、国に対しても悪く
ことは悪いとはつきり物が言
える町政」、「町民の力に依拠
して思いやりが持てる町政」
・・・今年は町政変換の年に
していきたいものです。

定の結論を出そうとしていた矢先、町長の考えと違うという一点で町民との協同を壊してしまったという態度をとりました。

「美しい村」連合加盟については、府内や議会との話し合いもなく、独断で加盟申請を行いました。加盟後も「美しい村」にふさわしい町をどのようにつくるのかという方針は一向に見られませんでした。昨年度から議会に押されでワークショップを開いたりアクションプランをつくってはきましたが、これを実現するためには町民との協同をどうすすめるのか確たる方針もなく、ただ加盟しただけという状態です。

その他の事例についても、町政を前進させるという意欲が伝わってきません。何回に